



フエ伝統工芸フェスティバル2013の様子

都市間交流

今後の展望は？

問2

中国保定市やベトナムフエ市とは、教育・文化面の交流から産業分野へと交流の裾野を広げているが、国内外の都市間交流の現状と課題をどう捉えているのか。

答 地方都市においても国際化が進み、経済活動を中心としたグローバル化への対応が不可欠であり、本市の地域資源を活用した戦略的な国際交流を促進していきたい。

議案質疑

なお、国内の都市間交流については、現在、災害時応援協定や湧水保全フォーラムなどの「水」を介してのつながりなど、多くの自治体との交流がある。今後、更に交流を深め、さまざまな分野で協力関係を構築していきたい。

平成27年度一般会計予算

障害者に対して

温もりある行政を！

問 今回、心身障害者扶養共済推進事業費補助金の補助率が引き下げられたが、加入者に事前の説明を行わず、文書のみを送付し、その後、一切の説明もない。これは、温もりのある行政とは言えないが、どのような経緯で補助率の引き下げに至り、その説明責任をどう認識しているのか。

答 心身障害者扶養共済推進事業費補助金は、愛媛県が補助を廃止した平成24

年度以降も補助を維持してきたが、今回、西条市補助金等検討委員会から、市民税課税世帯への補助については、終期を設定するよう提言を受けた。これにより、財政状況や県内他市の状況などを踏まえて検討した結果、補助率を3分の1から4分の1に改めた。

加入者には、周知文書を送付したほか、補助金申請の際、窓口で説明を行うこととしているが、市としての説明責任は果たしていないものと考えている。今後は、このようなことがないよう注意し、市の姿勢や変更点について、しっかりと周知していきたい。

なお、今後、更なる補助率の引き下げや廃止を行うことは、共済加入者の脱退が懸念されることから、当面は、改正後の補助率を維持したいと考えている。

今後の取組は？

西条うちぬき倶楽部

問 平成26年度に発足した西条うちぬき倶楽部の加入状況や情報交換会などの取組を通して、どのような成



西条うちぬき倶楽部情報交換会（東京会場）

果が得られたのか。

また、うちぬき倶楽部のネットワークをより拡大かつ高度化させるとの方針が示されたが、今後、どのような取組を進めていくのか。

答 現在の西条うちぬき倶楽部の会員は92名で、主な地域別としては、東京都149名、大阪府93名、愛媛県267名となっている。

東京都などで開催した情報交換会開催後のアンケート調査結果によると、「情報交換会の印象は良かった」が88・5パーセント、「来年も都合が付けば参加する」が93・6パーセントであった。また、会員には、市の広報紙の送付

や観光情報、物産展の紹介など、随時、情報を提供している。更に、ふるさと納税では、21名の会員から100万円を超える納税があり、これまでの成果として、会員と情報交換するためのネットワークの基礎づくりができたと考えている。今後、このネットワークを有効に活用し、情報発信を強化するとともに、平成27年度からのメールマガジン配信に向け、現在、会員登録を勧め、配信することによって、会員以外にも広がり期待できると考えている。

一般質問

どう考える？

市内交通道路網の整備

問 平成27年2月に開通した市道船屋王至森寺線

は、交通渋滞の緩和や南北軸の災害時緊急道路として、意義のある道路整備であった。

今後、西条市内道路網整備計画に基づく具体的な整備の見通しは、どうなっているのか。